

◆◆◆半ドン◆◆◆

■「半ドン」。

ほとんど聞かなくなったこの言葉、「語源由来辞典」に次のような説明があります。

「半」は「半分」の意味。「ドン」は「ドンタク」の略である。
 「ドンタク」はオランダ語で「日曜日」「休日」を意味する「ゾンターク」に由来し、
 「博多どんたく」の「どんたく」の由来でもある言葉で、明治時代から使われている。
 土曜日は半日が休みなので半分のドンタクで「半ドン」と呼ばれるようになった。

半ドン＝土曜日のこと。

「明日は半ドンやけん、昼からどこかにご飯食べに行こうか」なんて使っていました。

■私が教師になった平成のはじめまでは学校も会社も「半ドン」が当たり前でした。

休みは日曜祭日のみ。

でも早く帰れる「半ドン」は子どものころも大人になってからも楽しみでした。

潮目が変わったのは1992年、今から28年前です。

この年、「学校週5日制」がそろりと導入されました。

ただしこの時は月1回、休みは第2土曜だけ。あとの土曜は「半ドン」でした。

3年後の1995年に第4土曜も休みとなりました。

完全に土曜が休みとなったのは2002年。ここで「半ドン」は消滅したことになります。

■ところが。

「半ドン」は復活します。「土曜授業」の導入です。

地域とつながるために。学力を高めるために。

2013年ごろから全国で「土曜授業」が

行われるようになりました。

今日はその土曜授業。通常の授業に加え、

P T Aの皆さんに企画していただいた

「南風逃走中」、地域、P T Aの代表委員さんから
 学校運営にご意見をいただく「学校運営協議会」、
 九州大学の学生さんの指導による「九大寺子屋」と、
 盛りだくさんの取組。

子どもたち、そして保護者や地域の皆さまの
 笑顔があふれること、楽しみです。

